

◆第35回 近畿弓道大会

平成23年10月16日(日) 橿原公苑弓道場

男子団体優勝 長濱 正伸 原田祐介 綿松 昭寛
女子個人5位 林 秀子



■国民体育大会に付き添って

成年男子監督 西浦範光

10月1日(土) 山口市で開催された国体に、監督として25年ぶりに参加しました。4月に監督を引き受けてから



の約5ヶ月間、毎週土曜・日曜日を練習に明け暮れる選手を目の前でじっくり見てきて「今年こそ予選通過」を信じてきました。しかし、結果

はお聞きの通り遠近共予選落ちでした。本戦前の練習では完璧とは言えないにしても、抜群の仕上がりをを見せていただけに、結果には愕然としました。

その結果を踏まえて、私が監督として何がダメで、何が不足しているのかを考えたとき、たくさんの要素がありますが、まず第一に選手個々の性格や射及び射に対する考え等をしっかり把握するのが遅かったことが挙げられます。

国体本戦の前の練習で初めて、選手の射に対する思いが理解できたこともありました。その時点で今更どうする術もありませんでした。普段の練習においても、各選手の射の向上と緊張感のある練習の雰囲気を作ることに主眼を置き、選手から1歩隔てた地点から見ていました。そのことで選手が本心を出せなくなっていたように思います。

全て監督の責任であることを痛感しています。会員の皆様の多大な声援を受けながら、その職務を全うできなかったことを深く反省しています。本当に申し訳ありませんでした。そして、強化選手の皆さん、選手の皆さんに深くお詫び申し上げます。



No. 28

全日本弓道選手権大会、国体と大きな大会も終わりました。残念ながら、今年に入賞はなりませんでした。それぞれ、奈良県代表として恥ずかしくない射を披露していただきました。的中だけでない、そこに何を求めるのか。

先般、フランスのテレビ会社から取材を受けました。テーマは「的のむこうに」ということでした。日本弓道の求める道は、ただ、的に当てるだけではない。そのむこうに、何かがある。あるはず。永遠の課題かも知れませんが、問題を突きつけられたような気がしました。

全日本も国体も、ただ、結果を求めるのではなく、大会に向けての、努力・研鑽が大事なのではないのでしょうか。参加された代表選手の今後の成長を期待しております。さらに、来年へのスタートが始まっています。会員各位、それぞれの立場で、己の弓道修練の目標に、これらの大会も、視野に入れて、修練してほしいものです。

奈良県弓道連盟 会長 吉本清信

■全日本選手権に出場して

西浦範光

今年度は伊勢神宮弓道場で開催されました。昨年度の反省に立って、「今年度こそは…」という強い思いで参加しました。その分だけ気持ちが空回りしてしまいました。「この大会には魔物が居る。」と誰かが言っておられましたが、そのせいでダメだったのではなく、あくまでも自分の甘さだと思います。普段の練習の通り、もしくはそれ以上の結果を出している選手がたくさんおられるのですから。自分の弱さや甘さを改めていやな感覚で思い知らされました。

ただ、自分に言い訳をするなら、去年は引くときに迷いがなく、今年度は前日まで悩んでいたことが大きな違いでした。救いは、これからの練習の方向を少し勉強できたかな、と思います。

奈弓連の皆様からたくさんのご声援を受けながら代表として恥ずかしい結果に、ただただ頭を下げることでできません。また、当日現地まで声援に来ていただいた方々に厚く御礼申し上げます。もっともっと精進して恩返しできるように頑張りたいと思います。

ご声援本当にありがとうございました。

■第44回全日本女子弓道選手権大会に出場して

深田 紀美子

本年度は、伊勢神宮弓道場において、男子は9月22日～24日、女子は24日～26日の日程で行われました。

予選の立ち順は、82人中81番で一番最後の立ちになっていました。競技開始から約3時間をどのように過ごすかが、まず第1の課題になりました。「澄まし」にはほど遠く、「無」であろうと思うほど、いらぬことをあれこれ考えてしまいます。自分の弱さが身にしみず。

行射においても、普段通りと思えば思うほどドキドキし、ガチガチになってしまいました。やはり、こんなことを考えるようでは、まだまだ修行が足りません。

決勝は男女とも拝見、見取り稽古をさせていただきました。それぞれに、力強く安定感があり、見習うべきところは多くありました。

東日本大震災、台風12号による災害等で大きな被害が出ている中ではありますが、この大会に参加させていただいたことに感謝し、蟻のような一歩ではありますが、また、来年をめざして努力していきたいと思えます。

◆第64回 近畿高等学校弓道大会 団体県予選会 (高体連 高塚)

9月11日日曜日、橿原公苑弓道場に於いて、11月6日に滋賀県立武道館弓道場で行われる近畿高等学校弓道大会出場を目指し、女子17校31チーム、男子18校33チームが参加し団体予選が行われた。上位3校が出場権を手にした。

結果は次の通り。

☆女子団体

- 1位 高田商業高校Aチーム (24射16中)
南方由紀 高松愛美 弥富志笑 前田知明
- 2位 榛生昇陽高校Aチーム (24射16中)
森奈都美 石田絵理 藤本優
- 3位 高田商業高校Bチーム (24射14中)
高橋美帆 山本樹里奈 森口晴加 佐藤瞳

☆男子団体

- 1位 高田商業高校Aチーム (24射22中)
福岡良剛 徳永明飛 田中智 戸井一輝
- 2位 平城高校Bチーム (24射19中)
東田有史 栗原祥太 中嶋優隆 福角拓斗
- 3位 王寺工業高校Bチーム (24射15中)
向本啓太 小濱大幹 湊拓也 中井康

県代表として近畿大会に参加できるのは上位3校と前年度優勝校なので、女子は高田商業高校、榛生昇陽高校に加え4位の橿原高校の3校が、男子は王寺工業高校が前年度優勝しているため、高田商業高校、平城高校、王寺工業高校に加え4位の畝傍高校の4校が近畿高等学校弓道大会に奈良県代表として団体出場します。

◆第64回 奈良県高等学校総合体育大会 弓道競技会

(高体連 高塚)

9月23日金曜日、橿原公苑弓道場に於いて、17・18日の北・南部の予選を通過した個人女子21名・男子35名、団体女子17チーム・男子19チームで決勝が行われた。

個人の入賞者男女各10名は、11月5日に滋賀県立武道館弓道場で行われる近畿高等学校弓道大会に出場する。結果は次の通り。

☆女子個人

- ①中井 彩萌 (高田商業) ② 東 咲子 (奈良)
- ③大霜 里奈 (法隆寺国際) ④ 西川 綾 (西の京)
- ⑤森 奈津美 (榛生昇陽) ⑥ 杉本 光 (郡山)
- ⑦胡内 友花 (畝傍) ⑧ 高橋 嘉奈 (登美ヶ丘)
- ⑨中町 綾 (五條) ⑩ 奥田 未来 (橿原)

☆男子個人

- ①田中 智 (高田商業) ② 阪口 諒 (畝傍)
- ③中殿 恒太 (五條) ④小西 健太郎 (橿原)
- ⑤服部 光一 (大宇陀) ⑥ 中野 広大 (桜井)
- ⑦森村 亮太 (橿原) ⑧中西 元 (王寺工業)
- ⑨林田 渉平 (高田商業) ⑩ 久保 雅哉 (平城)

☆女子団体

- ① 五條A (中町綾・大津賀公美・中西珠美)
- ② 高田商業B (高橋美帆・山本樹里奈・森口晴加)
- ③法隆寺国際 (柿原一絵・川平洋子・大霜里奈・北浦和)
- ③桜井A (葛井麻衣・砂川夏絵・木村優希)

☆男子団体

- ① 高田商業E (本川侑樹・栗村遼・林田渉平)
- ② 高田商業B (大東昂平・兵頭佳太・戸井一輝)
- ③ 王寺工業D (小林謙太・中西元・三木理史)
- ③ 平城H (東田有史・栗原祥太・中嶋優隆)